

2025 年 9 月吉日

お客様各位

日本ムーグ株式会社
プロダクトマネジメント製造・販売・修理終了のお知らせ

拝啓

貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は弊社製品をご愛顧頂きまして、厚くお礼申し上げます。

さて、突然のお知らせとなりますが長い間ご愛用頂きました下記製品は継続が困難な状況のため弊社に於ける販売・サポートを終了せざるを得なくなりました。

ご不便をお掛けし誠に申し訳なく存じますが、事情ご賢察の上ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 対象製品

RTAI-Linux (32-bit) based Controller Middleware Simulation Software (以下、ミドルウェア)
以下のシステムに使用されているリアルタイムコンピュータにインストールされ、システムを制御するために動作しているソフトウェアになります。

- コントロールローディングシステム (CL-R-E-HD/MD シリーズ)
- モーションベース (MB-E(P)シリーズ)

2. 販売・サポートの終了スケジュール

最終受注	サポート対応終了
2025 年 12 月まで	2026 年 12 月まで

3. 切替品

最終受注以降の製品につきましては、AlmaLinux (64-bit)版のミドルウェアに全て切り替わります。
既存製品を更新される場合には、具体的なご対応はシステム毎に異なりますが、ご使用頂いておりますリアルタイムコンピュータの型式により、以下のようなご対応が必要となります。

- 旧型のリアルタイムコンピュータ（弊社部品番号: CLC03069-308）をご使用の場合
CLC03069-308 は、切替品（AlmaLinux (64-bit)版）のミドルウェアに対応しておらず、新規製造も終了しておりますので、リアルタイムコンピュータを切替品のミドルウェアがインストールされた CLC03069-311 に更新する必要があります。
- 現行のリアルタイムコンピュータ（弊社部品番号: CLC03069-311）をご使用の場合
CLC03069-311 にインストールされているミドルウェアを切替品に更新する必要があります。

4. 製品切替の背景（32-bit OS RTAI Linux 版から 64-bit OS AlmaLinux 版への切替）

弊社は 2010 年から 2025 年にかけて、RTAI Linux を用いたさまざまなシステムを納入して参りました。これまで RTAI Linux は必要な機能を満たしてきましたが、提供元のサポート終了に伴い、セキュリティ上の脆弱性対策等が困難な状況になりつつあります。

また、現代プロセッサの 64-bit アーキテクチャを活用した性能向上により、64-bit ベースのディストリビューションへの移行が進んでおります。

これらの状況を踏まえまして、弊社におきまして RTAI Linux を、Red Hat Enterprise Linux と互換性があり、より将来性のあるオープンソースディストリビューションである AlmaLinux に切り換える取り組みを開始致しました。AlmaLinux は、既に一部の弊社製モーションベースに 2025 年 1 月から導入されており、2025 年 8 月からは CL-E-R-HD/MD のコントロールローディングシステムにも導入されております。これらの実績に基づき、過去にご納品させて頂きましたシステムにつきましても、AlmaLinux 版ミドルウェアへの移行をご提案させて頂くに至りました。

なお、この切替品となるミドルウェアのご使用におきましては、システムの機能に変更はなく、オペレータはブラウザ上で操作するウェブベースのユーザーインターフェース（Moog Simulation Software GUI）で操作可能となっております。但し、システム構成によりましては、ホスト通信の通信バッファに若干の変更が生じることがございます。また、64-bit AlmaLinux アーキテクチャはサイバーセキュリティ強化をサポートするためにより厳格な規則を伴っており、インストールやバックアップ／リストアの手順が異なるアプローチになっておりますが、この点については、お使いの状況に合わせて、手順等をご案内いたします。

ここでご説明いたしました通り、性能の改善を目的として処置でございますので、何卒よろしくご理解を賜りたく存じます。

切替品の詳細等、ご不明な点につきましては各営業担当または下記の連絡先までお問合せください。

問合せメールアドレス：info.japan@moog.com

以上